

VMware Horizon Apps

概要

VMware Horizon® Apps は、単一の統合ワークスペースを通して、SaaS アプリケーションやモバイル アプリケーションとともに、仮想化された Windows アプリケーション (VMware ThinApp® でパッケージングされ分離されたアプリケーションを含む) をエンド ユーザーに提供します。これらの RDS 公開アプリケーションは、データセンターで安全に実行できるだけでなく、場所やデバイスを問わず単一のデジタル ワークスペースからアクセス可能です。VMware の次世代デスクトップおよびアプリケーション配布プラットフォームである JMP を基盤として構築された Horizon Apps が提供するジャスト イン タイム アプリケーションによって、公開アプリケーションのレベルが向上します。アプリケーションをシンプル化しながら、アプリケーション配布の高速化、規模拡大、コスト削減、シンプルさを実現。さらに場所やデバイスを問わずアプリケーションにアクセスできるようになります。

主なメリット

モバイル環境とクラウド環境のメリットを活用する Horizon Apps は、アプリケーション仮想化を大きく変革し、これまでにないシンプルさ、セキュリティ、スピード、拡張性を低コストで実現できます。既存のソリューションと比較して最短で 30 分の 1 の期間で運用を開始できるだけでなく、コストを 50 % 程度削減することができます。

アプリケーション配布に伴うビジネス上の課題

現在は、エンド ユーザーのモバイル活用とそれに伴う生産性向上がつかないほど進んでおり、Windows アプリケーションに加え、SaaS や Web アプリケーションに個人または業務用のデバイスからアクセスする必要性が高まっています。この新しいモバイル クラウドの世界では、従来の PC に特化したツールを使用してエンド ユーザーにサービスを提供し、管理することは、ますます困難となります。実際のセキュリティやコンプライアンスの問題として、データの損失やイメージの流出が懸念されています。また、企業はコストの抑制に苦心しています。Horizon Apps では、IT 部門はコストを抑制し、エンド ユーザーに時間、場所、デバイスを問わず利用できる業務環境を提供しながら、新しい効率的な方法で、Windows アプリケーションを提供、保護、および管理することができます。

場所やデバイスを問わず仮想アプリケーションをセキュアに配布

VMware の次世代デスクトップおよびアプリケーション配布プラットフォームである JMP を基盤として構築された Horizon Apps は、データセンターで Windows アプリケーションをセキュアに公開し、場所やデバイスを問わず単一の統合デジタル ワークスペースからあらゆるアプリケーション (仮想アプリケーション、VMware ThinApp でパッケージングされ分離されたアプリケーション、SaaS アプリケーション、モバイル アプリケーションなど) をエンド ユーザーに配布できます。IT 部門は、JMP の機能を利用してジャスト イン タイム アプリケーションを提供し、管理の効率化、コスト削減とともに、コンプライアンスの簡素化を実現できます。エンド ユーザーは、ビジネスの状況に応じて効率的かつ柔軟にこれらのアプリケーションにアクセスできます。

アプリケーションを単一のプラットフォームで提供

Horizon Apps は、Microsoft Remote Desktop Services (RDS) を用いて仮想化された Windows アプリケーションと共有デスクトップ セッション、そして ThinApp でパッケージングされたアプリケーションを単一のプラットフォームから提供します。Horizon 7 によって提供される JMP テクノロジーを活用することで、IT 部門は効率的な管理とエンド ユーザーの権限設定を容易に行うことができるとともに、デバイスや場所を問わず、アプリケーションをエンド ユーザーに迅速に提供できます。

統合デジタル ワークスペースとシングル サインオン

Horizon Apps では、リアルタイムの認証機能がサポートされているため、Active Directory や LDAP などの複数の ID ソースにわたる ID 管理の効率化を IT 部門に提供するとともに、単一の統合ワークスペースを通して、状況に応じたカスタマイズ可能なアクセスをエンドユーザーに提供します。また、Horizon Apps は、2 要素認証、スマートカード認証、および生体認証をサポートするほか、米国連邦政府機関のコンプライアンスなどの、最も要求の厳しい基準に対応するよう設計され、認証を取得しています。ユーザーは、VMware のテクノロジーを活用して任意のデバイスまたはオペレーティング システムを介して認証を受け、ワークスペース内のすべてのアプリケーションにセキュアかつシンプルにシングル サインオンでアクセスできます。



図1：デジタルワークスペース

Instant Clone テクノロジーによる ジャスト イン タイム アプリケーションのプロビジョニング

- JMP テクノロジーには、インフラストラクチャの要件を大幅に簡素化しながら、セキュリティを強化できる、Instant Clone テクノロジーと VMware App Volumes™ が含まれています。エンド ユーザーがログインするたびに、個々のユーザー向けにカスタマイズされた新しいデスクトップとアプリケーション サービスを、エンド ユーザーに即座に提供することができます。
- 新規 RDS ホストを約 2 秒で起動できるため、ピーク時の需要にも簡単かつ柔軟に対応できます。
- 毎日 / 毎週 RDS ファームをシャットダウンし、新しいホストを迅速に起動することで、セキュリティを強化することができます。
- App Volumes によってストレージ コストおよび運用コストを最大 70 % 削減できます。また、1 対多のプロビジョニングにより、管理するイメージ数を最大 95 % 削減できます。
- 最新の Cloud Pod アーキテクチャにより、50 以上のサイト間で 5 万以上の RDS ファームへの拡張をサポートします。また、フェイルオーバーの機能が向上し、従来のアプリケーション仮想化モデルの数分の 1 の時間で実行できます。

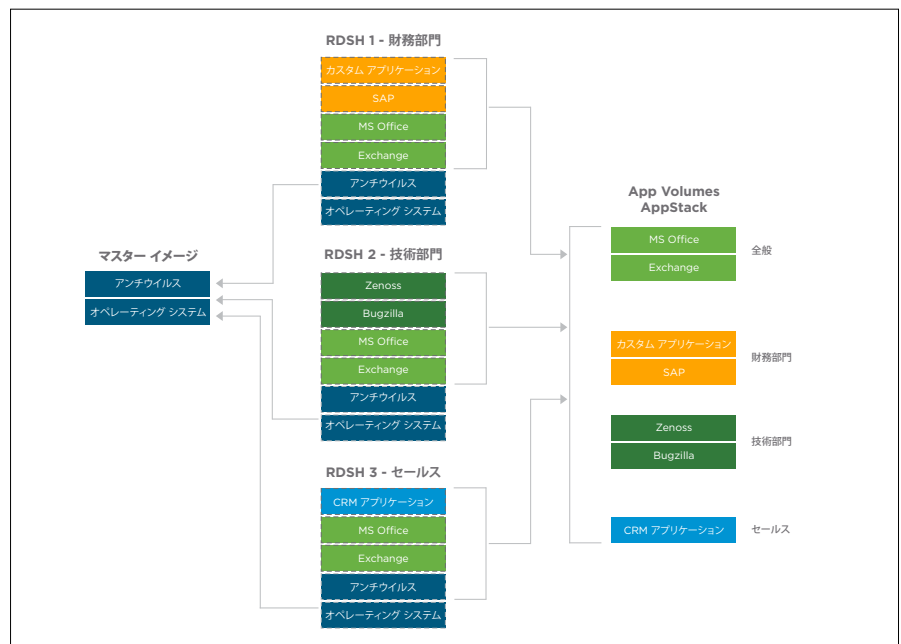


図 2：Instant Clone によりわずか数秒で RDS ホストにマスター イメージが配布されるため、アップデートの展開や新規ホストの作成を迅速に行えます。また、App Volumes により、オペレーティング システム上でアプリケーションが仮想化され、AppStacks を介して RDS ホストに配布されます。これにより管理者は、イメージを再作成することなく、簡単かつ迅速にアプリケーションの更新や新規アプリケーションの展開ができるようになります。

ユーザー環境の管理およびカスタマイズ

VMware User Environment Manager™ は、あらゆる仮想環境、物理環境、およびクラウド ベースの環境全体に、ユーザー個々のニーズに基づいたカスタマイズと動的なポリシー設定機能を提供します。

- 既存のインフラストラクチャを利用する、単一の拡張可能なソリューションを提供することで、エンドユーザーのプロファイル管理を簡素化
- デバイスや場所を問わず、個々のニーズに合った一貫性のある操作環境で、Windows ベースのワークスペースやアプリケーションへの迅速なアクセスを提供

リアルタイムでのアプリケーションの配布と管理

- アプリケーションを容易にパッケージングして互換性の問題を回避
- ジャスト イン タイム アプリケーションと Instant Clone テクノロジーにより、アプリケーションを迅速かつ大規模にプロビジョニング
- ユーザーが各自のデスクトップにログインしているときにも、アプリケーションをユーザー、グループ、またはデバイスに動的に関連付け
- アプリケーションをリアルタイムでプロビジョニング、配布、アップデート、および削除

Software-Defined Data Center 向けに最適化

VMware vSphere® で培った知識や経験を活用、応用することで、アプリケーションの提供を簡素化することが可能です。Horizon Apps では、仮想コンピューティング、仮想ストレージ、および仮想ネットワークといった仮想化の機能とセキュリティ機能を実装することで、コスト削減、ユーザー環境の向上、およびより優れたビジネス俊敏性を実現します。

Horizon Apps には VMware vSAN™ オール フラッシュのサポートが含まれています。vSAN は、ストレージのプロビジョニングを自動化し、直接接続型ストレージ リソースを活用して、デスクトップ ワークロードにかかるストレージ コストを削減できます。また、Dell EMC VxRail や各社から提供される vSAN Ready Node、その他のハイパーコンバージド インフラストラクチャ アプライアンスを利用して、コストが最適化され、拡張性に優れた、使いやすいデスクトップおよびアプリケーションの仮想環境をサポートすることも可能です。

ビジネス上のメリット

IT 部門は Horizon Apps を活用して、次のようなメリットを獲得できます。

- 運用コストの低減： ジャスト イン タイム アプリケーションおよび 1 対多のプロビジョニングを利用した最新の管理ツールにより、ストレージ コストと運用コストを大幅に削減
- 生産性の向上： エンドユーザーは、場所やデバイスを問わずビジネス クリティカルなアプリケーションに簡単かつセキュアにアクセス可能
- セキュリティの強化： 迅速に業務を実行しながら、機密性の高いアプリケーションおよびデータをセキュアにデータセンターで保護

Horizon App の構成

Horizon App には、2 種類のエディションが用意されています。

- Horizon Apps Standard：強力なアプリケーション仮想化と優れたユーザー環境
- Horizon Apps Advanced：ジャスト イン タイム アプリケーションの仮想化をシンプルに実現

機能	サブ コンポーネント / 製品	Horizon Apps Standard	Horizon Apps Advanced
ライセンス権限			
同時接続ユーザー単位		○	○
指定ユーザー単位		○	○
アプリケーション			
統合ワークスペース：XenApp、RDSH、SaaS、ThinApp	VMware Identity Manager Standard	○	○
公開アプリケーション（RDSH）	RDS 公開アプリケーション	○	○
公開デスクトップ（RDSH）	RDS 公開デスクトップ	○	○
アプリケーションのパッケージング	VMware ThinApp	○	○
Blast Performance（3D グラフィックス、ユニファイド コミュニケーション、マルチメディア リダイレクトなど）	VMware Horizon	○	○
アプリとデスクトップへのシングル サインオン アクセス	VMware Identity Manager Standard	○	○
アプリケーション管理			
リアルタイムでのアプリケーションの配布	VMware App Volumes		○
Instant Clone テクノロジーによるジャスト イン タイムの提供	VMware Horizon		○
ユーザー環境の管理			
ユーザー、プロファイル、およびポリシーの管理	VMware User Environment Manager	○	○
インフラストラクチャ			
デスクトップ インフラストラクチャ			
クラウド インフラストラクチャ	VMware vSphere® Desktop と VMware vCenter® Desktop	○	○

